

令和 7 年度事業報告書

事業実施期間：令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日まで

令和7年度 事業総括

生活や社会活動の急激な変化により、家庭や地域における福祉・生活課題が顕著化しています。物価高騰は収まらず、負担や不安が増大する中、常に何かを心配しながら生活することが続いています。こうした地域福祉課題は局内で共有し、関係機関と協議・連携し協働で取組み、地域包括ケアシステムの構築、地域福祉活動の推進、介護保険事業、地域包括支援センター事業を運営しました。

令和7年度は4年に一度の理事、監事、評議員の一斉改選と第4期東みよし町地域福祉活動計画策定の年が重なりました。「自然とやさしさ、心ふれあう福祉の郷」の実現のため、例年以上に深く、地域福祉活動における社会福祉法人・社会福祉協議会の関係性や重要性を住民のみなさまと共に見つめなおすことができた、本会にとって極めて重要な1年となりました。大きな熱意を持って、ご協力・ご尽力いただいた皆様、そして地域福祉活動を実践し「支え愛」とたくさんの笑顔を広めていただいた皆様に感謝申し上げます。

重点目標総括

① 社会福祉法人として健全運営と公益的な事業の強化・・・・・・・・・・・・・・・・

物価高騰が続き経済状況が厳しいと言われる中にも関わらず、社協会費や善意銀行へご寄付を賜りました。地域福祉の中核を担う組織としての機能を継続するため、職員の処遇を含む働き方の見直しや人材育成を実施し、1名が社会福祉士に合格いたしました。また、局内連携と共通認識を高めるため、夕礼、月1度の管理職会議、職場内研修を実施しました。

② 地域住民の参画と協働による地域福祉活動の推進・・・・・・・・・・・・・・・・

第4期地域福祉活動計画の策定に全職員で取組みました。2期ぶりに開催した地域座談会を通じて、地域福祉活動実践者の顔合わせや情報共有を行うことができ、非常に期待の持てる計画を策定することができました。今後はこの計画に基づき、地域福祉活動推進事業、小地域福祉活動、ご近所の支えあい等の充実と情報共有の場である「さんわ会」事業、子どもたちが安心して笑顔で集まれる居場所づくり等の事業をさらに充実させてまいります。

③ 総合相談・生活支援体制の確立と機能強化・・・・・・・・・・・・・・・・

本年度より法人後見事業を開始し、受託事業である権利擁護センターのさらなる強化につながりました。1件の受任が整う状況にあり、これまで行ってきた日常生活自立支援事業や生活困窮者自立支援事業、心配ごと相談事業等の相談機関の機能に加え、住民のみなさまの期待に応えることのできる体制が整いました。子育てや就労、言語の問

題など幅広い支援が必要ななか、相談しやすい仕組みと関係を構築するため、SNS を使った相談受付や支援、夜間早朝の電話対応、フードバンク事業を活用した個別支援は、住民の皆さまから多くのご支援をいただき、計画通り実施しました。

④ 他機関との連携と情報共有の強化・・・・・・・・・・・・・・・・

社会福祉法人間の連携組織である「東みよし町暮らしサポートネットワーク会議」を継続実施しました。各法人が抱える困難事例等を定期的に検討し、関係機関お互いが持ち合わせる機能を住民の方に気軽に活用いただける仕組みづくりを今後も目指します。

⑤ 災害時対応力の向上・・・・・・・・・・・・・・・・

自然災害、感染症共に対応した事業継続計画を常に見直しながら、平常業務を進めました。夏季・冬季にそれぞれ、住民参加型防災体験事業を実施し、定期的な啓発に努めています。また職員研修として、西部圏域災害ボランティアセンター設置運営訓練を本会で実施し、職員の対応力向上に努めました。

⑥ 介護保険サービスの質の向上と人材育成の強化・・・・・・・・

2 か所の通所介護事業の状況は、さざんか荘が5年前の利用数に回復、おおぐす荘は前年度からほぼ横這いと、一時期の危機的な状況を脱し明るい兆しが見えました。しかしながら両事業共に、目標とする利用率 80%の達成は依然として困難な状況にあります。これは、近年続いている個別支援への要望の増加、訪問介護事業への利用転換が要因であると共に、第9期介護保険計画の予想値どおりの推移でもあります。訪問介護は利用が増加しても収支の状況は健全化することはなく、町からの補助金を得て運営し事業を継続している状況からも、事業継続に向けて中長期的な計画と変化が不可欠となっています。一方、人材育成面では介護福祉士1名、介護支援専門員2名が合格するなど、飛躍の一年となりました。

⑦ 地域包括支援センターの運営・・・・・・・・・・・・・・・・

地域包括ケアの実現に向けて、総合相談、権利擁護、個別地域ケア会議からの地域課題の抽出、介護支援専門員の資質向上、認知症への取り組み等に重点を置いたセンター運営を行いました。のびのび教室や搜索模擬訓練など、住民参加型事業を通じて、自助力・共助力の向上を図りました。

⑧ 退職世代の学び・交流・活動の場づくり・・・・・・・・

高齢者が自ら学び相互に支えあう仕組みづくりと、経験や知識を活かして活動するシルバー大学校・大学院やシルバー人材センター事業を通年計画通りの事業を実施しました。

総務課

1. 理事会・評議員会・監事会の開催状況

開催年月日	会議名	審議等事項
R07/05/16	監事会	令和6年度決算監査
R07/06/02	第1回理事会	議案 ①令和6年度事業報告・決算報告・監査報告について ②理事・監事候補者の選定について ③評議員候補者の推薦について ④評議員選任・解任委員の選任について ⑤苦情解決に関する要綱の第三者委員の選任について ⑥令和7年度第1回評議員会の招集について 報告 ①善意銀行払出申込について ②理事長及び常務理事職務執行状況報告について
R07/06/02	第1回評議員選任解任委員会	議案 ①評議員の選任について
R07/06/17	第1回評議員会	議案 ①令和6年度事業報告・決算報告・監査報告について ②理事・監事の選任について
R07/06/17	第2回理事会	議案 ①会長、副会長、常務理事の選任について ②第2回評議員会の招集について ③令和7年度第1回補正予算について 専決 ①令和7年度第1回予算流用の報告について 報告 ①令和6年度夏季勤勉手当の支給について
R07/06/17	第2回評議員会	議案 ①令和7年度第1回補正予算について 専決 ①令和7年度第1回予算流用の報告について
R07/10/15	第3回理事会 ※書面表決	議案 ①徳島大正銀行からの当座貸越による融資枠設定について

開催年月日	会議名	審議等事項
R07/12/10	第 4 回理事会	<p>議案</p> <ul style="list-style-type: none"> ①第 3 回評議員会の招集について ②第 2 回補正予算(案)について ③理事候補者の選定について ④評議員候補者の推薦について ⑤心配ごと相談員の選任について <p>専決</p> <ul style="list-style-type: none"> ①第 2 回流用予算(案)について <p>報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ①上半期運営状況について ②勤勉手当の支給について ③理事長及び常務理事職務執行状況報告について
R07/12/10	第 3 回評議員会	<p>議案</p> <ul style="list-style-type: none"> ①第 2 回補正予算(案)について ②理事の選任について <p>専決</p> <ul style="list-style-type: none"> ①第 2 回流用予算(案)について <p>報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ①上半期運営状況について ②勤勉手当の支給について ③理事長及び常務理事職務執行状況報告について
R07/12/10	第 2 回評議員 選任解任委員会	<p>議案</p> <ul style="list-style-type: none"> ①評議員の選任について
R08/03/02	第 5 回理事会	<p>議案</p> <ul style="list-style-type: none"> ①令和 7 年度 第 3 回補正予算(案)について ②令和 8 年度 事業計画 (案) について ③令和 8 年度 収支予算 (案) について ④諸規程の変更について ⑤令和 7 年度 第 4 回評議員会の招集について <p>専決</p> <ul style="list-style-type: none"> ①令和 7 年度 第 3 回流用予算(案)について
R08/03/18	第 4 回評議員会	<p>議案</p> <ul style="list-style-type: none"> ①令和 7 年度 第 3 回補正予算(案)について ②令和 8 年度 事業計画 (案) について ③令和 8 年度 収支予算 (案) について <p>専決</p> <ul style="list-style-type: none"> ①令和 7 年度 第 3 回流用予算(案)について

2. 広報宣伝活動

社協だより：年2回発行

○第1号 令和7年7月10日から 3,883世帯に配布

○第2号 令和8年2月10日から 3,877世帯に配布

ホームページ：随時更新、お知らせ・フォトレポート等により周知

SNS：公式 facebook による各種お知らせ、公式 LINE による相談対応の実施



3. 社協賛助会員及び賛助会費

社会福祉協議会は、社会福祉法に基づく社会福祉法人の一つであり、誰もが明るく、住みよい福祉社会を実現することを目的として組織された民間の福祉団体である。

社会福祉協議会においては、地域の福祉課題を整理し、その解決に向けて地域住民や関係者と協議しながら方針を立て、順序立てて計画を策定するとともに、地域住民が地域福祉に参加しやすい環境の整備を進めている。

その事業運営の財源は、会費、赤い羽根共同募金配分金、寄付金、県や町からの補助金および委託金など、大きく分けてこれらに分類される。

住民が住み慣れた地域で安心して生活を継続できるよう、高齢者・障がい者支援、児童福祉の推進、ボランティア活動支援、そして「さんわ会」を中心とした地域づくり支援など、地域福祉の推進を図っていく。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
依頼件数（世帯）	4,074	4,028	3,949	3,900	3,855
納入件数（世帯）	3,383	3,299	3,333	3,390	3,510
賛助会費（円）	3,377,500	3,382,000	3,326,500	3,288,000	3,217,800
世帯加入率	83.04%	81.90%	84.40%	86.92%	91.05%

4. 善意銀行事業

善意銀行は、地域住民からの「善意」を預かり、それを必要とする人々へ届ける制度で、「銀行」という名称ではあるが、金銭的な利子を伴う金融機関ではなく、福祉のための『善意の預かり所』である。

この制度の目的は、地域における助け合いや支え合いの心を、具体的な形として表すことにあり、預かった寄付金や物品、労力（ボランティア）などは、高齢者、障がい者、子育て世帯、災害被災者など、支援を必要とする人々のために活用させていただいた。

金銭預託実績

年月日	寄附申込者	自治会	預託金額
R07/05/12	稲持つくし会		15,220
R07/07/23	北川美智子	山根西	1,000
R07/10/20	匿名	-	3,000
R07/12/08	スタジオ FUN 土井逸子	北村中	10,000
R07/12/22	東みよし町地区対抗ゴルフ	-	96,547
R07/12/30	匿名	-	50,000
R08/03/25	木村陸子	西原	200,000
合 計			375,767

※敬称略

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
預託金額	605,250	818,557	246,358	105,876	375,767

善意銀行 金銭預託金額 375,767 円
 払出金額 0 円
 令和7年度末 預託残高 26,592,217 円

物品預託実績

年月日	寄附申込者	自治会	預託物品
R07/07/28	徳島県ホンダ会	-	軽自動車（HONDA N-WGN）
R07/10/30	匿名	-	広告ゴミ箱
R08/03/04	支援センター はくあい	三好市	車いす

※敬称略



労力預託実績

年月日	寄附申込者	預託労力
R07/07/24	博愛ヴィレッジ	ボッチャ大会会場設営
R07/11/20	シルバー人材センター	三加茂老人福祉センター周辺剪定
R07/11/20	シルバー人材センター	デイサービスさざんか荘周辺剪定
R07/12/15	シルバー大学校 OB 会	三加茂老人福祉センター清掃

※敬称略

地域福祉課

地域福祉事業

1. さんわ会事業

地域の支え愛の再構築と地域課題の可視化、防災・減災活動として開催をいただいている。また、高齢者世帯や独居世帯の増加と、自然災害の頻発による住民の方々の支え合いや防災意識の高まりから、さんわ会開催に関するご相談も多数いただいた。ひきつづき自治会長会や自主防災組織連絡会などの際に本事業の周知を行い、気軽に開催いただけるよう呼びかけを継続していきたい。

	年月日	回数	主 催	場 所	人数	炊き出し	マップ	防災講話	その他
1	R07/04/10	1	畑・法市自治会	畑・法市集会所	11	○	○	○	
2	R07/04/27	5	貞広自治会	貞広集会所	60	○	○	○	
3	R07/05/11	4	円福寺自治会	円福寺集会所	22	○	○	○	
4	R07/06/01	5	泉野自治会	泉野集会所	19	○	○	○	
5	R07/07/22	2	高木親子会	やまももハウス	11	○		○	
6	R07/10/26	2	平自治会	西庄小学校	30	○			
7	R07/11/16	6	山根自治会	山根生活改善センター	110		○		
8	R07/11/18	3	昼間長生会	老人憩の家	18	○		○	
9	R08/03/25	10	東みよし TF	社会福祉協議会	70	○		○	
合 計					351				

2. 地域福祉活動推進事業

自治会や地域団体等が主体となっていく、地域交流、世代交流などの地域福祉活動計画の目標達成のための事業に対して助成を行っている。

地域福祉活動計画では、いきがづくりやあいさつ声かけ等の『つながり』、ご近所での助け合いや自治会活動の充実による『絆』、世代間交流や学校・施設を活用した活動による『地域力』が地域課題として明らかになっており、それらを解決する活動の支援を行った。

	年月日	実施主体	場 所	参加人数	事業内容
1	R07/05/04	西庄良所会	水の丸高原	100	水の丸高原ウォーク
2	R07/10/04	西庄さんわ推進会	西庄池周辺	40	西庄池周辺環境美化活動
3	R07/10/24	ボランティアグループ愛東山	東山公民館	11	東山地区お食事会
4	R07/11/29	足代地域の防災を考える会	足代小学校	300	足代地区防災訓練
5	R07/11/30	西庄良所会	西庄小学校	38	西庄フェスタ
6	R08/02/05	西庄良所会	西庄公民館	28	西庄地区お食事会
7	R08/03/01	守る会東山	東山小学校	500	しゃまの節句まつり
8	R08/03/18	社会福祉協議会	大藤公民館	16	大藤・奥村お食事会
合 計				1033	

○第4期東みよし町地域福祉活動計画策定

東みよし町地域福祉活動計画の見直しとなる本年度、第4期となる計画の策定に向けて策定委員会を開催した。

なお、本計画の期間は令和8年度より令和12年度までとなっており、毎年度計画の進捗状況を把握するとともに必要に応じて見直しを行い、令和12年度には第5期の策定に向けて協議を行う予定としている。

◇策定委員会開催状況

第1回東みよし町地域福祉活動計画策定委員会（参加人数：21名）

令和8年1月29日(木) 13:30～15:00 社協集会室

委員長・副委員長の選任、地域福祉活動計画について
地域福祉計画から見える地域課題について

第1回三加茂地区計画策定委員会（参加人数：52名）

令和8年2月13日(金) 19:00～20:30 三加茂庁舎多目的ホール

5年の間に地域で起こった変化と継続できたこと

第1回三好地区計画策定委員会（参加人数：33名）

令和8年2月17日(火) 19:00～20:30 東部福祉センター

5年の間に地域で起こった変化と継続できたこと

第2回三加茂地区計画策定委員会（参加人数：47名）

令和8年2月27日(金) 19:00～20:30 社協集会室

5年後に目指す地域の姿と取り組み

第2回三好地区計画策定委員会（参加人数：36名）

令和8年3月 4日(水) 19:00～20:30 東部福祉センター

5年後に目指す地域の姿と取り組み

第2回東みよし町地域福祉活動計画策定委員会（参加人数：21名）

令和8年3月31日(火) 14:00～15:30 社協集会室

第4期地域福祉活動計画の承認について

計画の推進について

3. ふれあい・いきいきサロン支え隊事業【町受託事業】

高齢化やご近所による見守りや支えあいの希薄化が問題視される現状に鑑み、身近な地域で『気軽に』『楽しく』集まれる場所づくりのためにサロン活動の開催を促し支援している。

代表者が亡くなったことにより解散したサロンもあるが、新設の相談も入っている。会員の体調不良等による参加人数の減少等で休会したサロンに対しては、いつか再開できるようにと引き続きサロン News をお配りしている。新設の相談は、「のびのび教室」への参加がきっかけになる場合もあれば、既存のサロンに参加して「自分の地域でも」と思い立ち、サロンの立ち上げにつながるケースもあった。

◇サロン設置数及び登録人数

地 区	設置数	登録人数	年間 開催回数	延べ参加人数	新設数	解散数
三庄平坦地区	10	126	165	1,796	0	0
三庄山間地区	4	37	69	633	0	0
加茂地区	12	150	366	5,015	0	0
昼間地区	4	73	118	2,031	1	1
足代地区	9	81	231	2,030	0	0
東山地区	1	11	10	110	0	0
合 計	40	478	959	11,615	1	1

4. 地域支援事業（通いの場）【町受託事業】

要支援や要介護状態になるのを予防し、いつまでも元気な老後をめざすため、身近な通いの場（お住まいの地域）で5人以上のグループをつくり、介護予防への取り組みを自主的に行っていただくための支援を行っている。

◇通いの場主な内容

- ①「いきいき百歳体操（徳島版）」等の体操を実施
- ②初回から4回は理学療法士、またはサロンコーディネーターが実技指導を行う
- ③職員が訪問し健康チェックと体力測定を行う（初回、3ヶ月後、6ヶ月後、1年後、1.5年後、2年後、2.5年後、3年後～）
- ④定期的に理学療法士が実技指導を行う（初回、3ヶ月後、1年後、2年後、3年後～）

地区名	設置数・登録人数			体力測定等実施回数・専門職派遣数	
	設置数	登録人数	新設数	実施回数	理学療法士派遣数
三庄平坦地区	8	86	0	9	4
三庄山間地区	2	16	0	2	1
加茂地区	8	120	0	9	4
昼間地区	4	74	1	2	1
足代地区	7	62	0	11	5
東山地区	2	17	0	3	1
合 計	31	375	1	36	16

5. こどもの居場所づくり推進事業

地域の大人との継続的な交流ができ、子どもたちにとって安全で安心な居場所であり、信頼関係のもとでの様々な活動を行う中で、すべての子どもたちが夢や希望をもって健やかに成長していける居場所づくりを展開する。

○こども★さろんの開催

子どもや子育て世帯の居場所づくりと交流の場所づくりのため、夏休みには三好地区、春休みには三加茂地区でそれぞれ1回開催した。地域の関係機関にご協力いただき、宿題支援や紙芝居、ニュースポーツ、しおりづくりを体験し、昼食を提供した。

開催日時	会場	内容	参加者
<三好地区> 8月6日(水) 9:30~15:00	中央公民館 2階~4階	学習支援、紙芝居、本の読み語り、カルタ、昼食、コードミッションアドベンチャー	25名 昼間小:20名 足代小:3名 三庄小:2名
【関係機関】 ふれあい・いきいきサロン連絡協議会、教職経験者、グランマボランティアグループ愛、昼間長生会民生委員児童委員協議会			
開催日時	会場	内容	参加者
<三加茂地区> 3月30日(月) 10:00~13:30	ヴィレッジあこ	手話体験、レクリエーション各種、昼食	33名 三庄小:4名 加茂小:19名 あこ:10名
【関係機関】 ヴィレッジあこ、手話サークルみかも、西庄さんわ推進会、三加茂福祉委員会加茂大楠会、加茂福寿会、三寿会、民生委員児童委員協議会			

○こども★さろん農林業体験の開催

米作りの体験から農業の大切さを学ぶとともに、地域住民(高齢者)とのふれあいを通して地域の良さを知り、生まれ育った地域に愛着と誇りが持てることを目的に開催している。

地域団体『東みよし町地域活動支援隊』が主催で開催しており本会も運営支援を行う。

回数	開催日時	会場	内容	参加者
1回	令和7年5月25日(日) 10:00~12:00	井上農機商会前の水田(昼間)	田植え	15名 (こども9名・保護者6名)
2回	令和7年7月26日(土) 16:00~17:00	井上農機商会前の駐車場(昼間)	野菜の配布	5世帯

回数	開催日時	会場	内容	参加者
1回	令和7年5月25日(日) 10:00~12:00	井上農機商会前の 水田(昼間)	田植え	15名 (こども9名・保護者6名)
3回	令和7年9月28日(日) 10:00~12:00	井上農機商会前の 水田(昼間)	稲刈り	9名 (こども5名・保護者4名)
4回	令和7年12月14日(日) 10:00~13:00	中央公民館 (昼間)	餅つき	9名 (こども5名・保護者4名)
【主催】 東みよし町地域活動支援隊 【協力】 子ども食堂、地元ボランティア、さんカフェ参加者、東みよし町社会福祉協議会				

○子ども食堂の運営相談・支援

子ども食堂の立ち上げに関する相談業務や助成金案内、保険加入などの運営支援を行った。

【相談対応件数】

◇立ち上げ相談 0件 ◇保険 8件 合計相談件数 8件

6. 生活支援体制整備事業【町受託事業】

単身や夫婦のみの高齢者世帯、認知症の高齢者が増加するなか、医療、介護サービスの提供のみならず、東みよし町が中心となって、生活支援サービスを担う多様な事業主体と連携しながら、多様な日常生活上の支援体制の充実・強化および高齢者の社会参加の推進を一体的に図っていくことを目的に体制整備を進めている。

○地域支えあい推進協議体会議

◇第1層協議体(町域)支えあい推進員会議の開催

回数	開催日時	内容	出席数
1回	令和7年9月17日(水) 13:00~14:30	役員の改選 協議体説明とこれまでの活動報告 今後の活動に向けての情報共有	14名

◇第1層協議体(町域)支えあい推進員 日帰り研修の開催

開催日時	内容	場所	出席数
令和8年3月28日(土) 8:00~15:30	講演 「高齢者と自転車運転 ～運転寿命の延伸のために～」 講師：岩佐英志先生	ふれあい健康館 (沖浜東)	5名

〈研修の開催〉

回数	開催日時	内容	出席数
1回目	令和7年2月18日(火) 10:00~12:00	つながりワーカー養成講座 ※老人クラブを中心に	20名
2回目	令和7年9月30日(火) 10:00~12:00	つながりワーカー養成講座 ＜三好地区会場＞ ※フレイルサポーターと サロン関係者を中心に	5名
3回目	令和7年10月2日(木) 13:30~15:30	つながりワーカー養成講座 ＜三加茂地区会場＞ ※フレイルサポーターと サロン関係者を中心に	33名

◇第2層協議体（小地域）支えあい推進員会議の開催

〈座談会の開催〉

地域の多様な主体がメンバーとなり、地域の困りごとなどを共有しあい、住民同士の支え合いによりできることはないか、より良い地域にしていくためにどのようなことができるかを話し合うために座談会を開催している。

今年度は、「第4期地域福祉活動計画」策定の年度であったため、策定委員として委員会にご参加いただき、地域課題や地域の目指す姿についてご意見をいただいた。

活動名	開催日時	内容	出席者
第1回三加茂地区 策定委員会	令和8年2月13日（金） 19時00分～20時30分	・5年間で起こった地域の変化 ・継続できたこと	14名
第1回三好地区 策定委員会	令和8年2月17日（火） 19時00分～20時30分		6名
第2回三加茂地区 策定委員会	令和8年2月27日（金） 19時00分～20時30分	・5年後に目指す地域の姿 ・取り組み（自助、互助、共助）	12名
第2回三好地区 策定委員会	令和8年3月4日（水） 19時00分～20時30分		7名

○フレイルサポーター養成講座の開催

加齢により心身の活力が低下している状態のことをフレイル（虚弱）といい、フレイルの兆候に早く気づき、適切な予防を行うことで健康な状態に戻ることができるといわれている。フレイルサポーターとは、養成講座を受けた住民が主体となり、地域や身近な方へフレイル予防を広める人たちのことで、地域でフレイル予防に取り組みいつまでも元気でいきいきとした生活を送ることを目的に『フレイルサポーター養成講座』を開催した。

活動名	開催日時	内容	受講者
フレイルサポーター養成講座	【1日目】 令和8年2月25日（水） 10:00～16:00	【1日目】 ・座学 ・フレイルチェック実技	4名
	【2日目】 令和8年2月26日（木） 9:30～12:00	【2日目】 ・フレイルチェック実技 ・振り返り	

○フレイルサポーター活動の取り組み

地域住民が主体となり、フレイル予防の啓発や推進に取り組むボランティア団体による活動。

〈サポーター数〉

計18名（1期生11名、2期生7名）

活動名	内 容	回数	延べ参加数
のびのび教室	参加者の体力測定支援	3回	32名
フレイルサポーター養成講座	運営支援、受講者支援	2回	10名

○つながり通信の作成

地域の見守り活動として、手紙を活用した「つながり通信」を作成している。

【内 容】健康に関する情報、脳トレ、自宅でする体操、困りごとの相談先などを掲載

【対 象】配食サービス利用者（独居高齢者・高齢者世帯・障がい者など）

地域で見守りが必要な方

【発行数】1回あたり約240～250部

【発行日】毎月1回

7. 赤十字事業

○日本赤十字社活動支援費募集状況

日本赤十字社活動支援費は、町内各戸1世帯600円を目標に寄付いただいたもので、国際救助活動、医療活動、献血活動や赤十字救急法等の講習など多岐にわたり活用させていただいている。東みよし町内ではさんわ会などの講習会や災害時救護活動、災害時のお見舞い金や救急セットの配布などに活用されている。

また、赤十字特別社員では毎年2,000円以上の活動支援費を10年以上継続して支援いただいている活動支援員となる。

◇令和7年度 日本赤十字社活動支援費 【目標額】2,212,000円

・活動支援費 3,376件 1,918,420円

・特別社員 53件 106,000円（うち新規4名）

計 3,429件 2,024,420円（目標額比較△187,580円）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動支援費	2,250,700	2,155,240	2,198,960	2,102,740	2,024,420
件数	3,780	3,567	3,525	3,491	3,429

○小規模災害に対する赤十字見舞金品の交付

日本赤十字社徳島県支部では、災害救助法の適用を受けない小規模の火災・風水害等により被害を受けた方に対し、援護物資や見舞金をお届けしている。

令和7年度は対象となる小規模災害はなかった。

○令和6年能登半島地震災害義援金

令和6年1月1日に発生した令和6年能登半島地震災害に対し、1月5日より能登半島地震への義援金の受付を開始し、東みよし町役場三加茂庁舎、同三好庁舎、社協窓口に義援金箱を設置。

令和7年12月31日までに991,747円の義援金をお預かりし、令和6年能登半島地震災害義援金として日本赤十字社徳島県支部へ送金を行った。

現在は大きな金額の預かりがないため、義援金箱も社協窓口1箇所となっており、状況に応じ送金予定。

8. 共同募金事業 ～東みよし町共同募金委員会～

○東みよし町共同募金委員会

実施状況：運営委員会 ①令和7年 5月29日 ②令和7年 9月 9日 ③令和8年 3月19日

○令和7年度 共同募金結果

10月1日～12月31日を期間とし、住民の皆様方の深いご理解のもと本年度目標額【赤い羽根共同募金：1,789,400円 歳末たすけあい募金：300,000円】を上回る多くの募金をいただいた。

【赤い羽根共同募金	1,987,993円】	(目標額比較 +198,593円)
(内訳) 自治会	1,684,200円	
職域募金	236,814円	
街頭募金	41,393円	10/1、11/22街頭募金
法人募金	15,000円	(有)三木産業、(有)西村自動車
学校募金	3,688円	
その他募金	6,898円	店頭募金、イベント募金
【歳末たすけあい募金	324,119円】	(目標額比較 +24,119円)
(内訳) 自治会	250,000円	
街頭募金	42,158円	12/1街頭募金
その他募金	31,961円	イベント募金

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
赤い羽根共同募金	2,114,293	2,115,902	2,220,516	2,087,595	1,987,993
歳末助け合い募金	276,277	250,407	250,648	301,107	324,119

○「東みよし町を良くするしくみづくり」助成事業の募集及び助成

住民の皆様にご協力頂いた共同募金を原資とし、東みよし町で活動するボランティア団体や福祉団体等に対して助成することにより、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができる町づくりを推進することを目的に助成事業を行った。

◇本年度の助成内訳

(1) 社会福祉協議会が行う地域福祉活動費

11事業 1,170,000円 [前年度比 1事業減 10,000円増]

(2) 自治会等の地域団体が行う小地域での福祉推進のための活動費

3事業 110,000円 [前年度比 1事業減 10,000円減]

(3) 地域福祉を目的とした福祉団体やボランティア団体などの活動費

9事業 330,000円 [前年度比 1事業減 ±0円]

計 23事業 1,610,000円 [前年度比 ±0円増]

9. ボランティアセンター事業

ボランティアセンターでは相談事業や、防災・災害ボランティアセンターの推進、福祉の保険加入事業等を実施している。

○ボランティアセンター

【相談事業】

- ・ 来所相談 14件
- ・ 電話相談 8件
- ・ 相談内容
 - ・ ボランティア保険について
 - ・ 子ども食堂助成金について
 - ・ 奉仕作業をしたい

【福祉の保険加入状況】

- ・ ボランティア活動保険 295名 (令和7年3月26日加入済み)
- ・ ふれあいサロン保険 12,216名 (令和7年3月26日加入済み)
- ・ 社協行事保険 2,340名 (33件)

○夏休みボランティアスクール

中学生や高校生を対象に、夏休みを利用してボランティア活動を体験することにより、活動への意識付けやきっかけづくりになることを目的としている。

開催日時	会場	内容	参加者
8月5日（火） 14:30～16:30	東みよし町 社会福祉協議会	ボランティア講座① ・ボランティア活動の種類や災害ボランティアについて説明。 ・心構えや留意事項などを説明。 ・東みよし町内で行われているボランティア活動を説明。 ボランティア講座② ・協力いただいているボランティア団体や民生委員さんについての説明や、訪問時にお話しすることの大切さを説明。 ・配食サービスのお弁当につけるお手紙をかいてもらった。	11名
8月6日（水） 9:00～15:30	東みよし町 中央公民館	なつやすみこども★さろんでの会場設営や運営スタッフの体験	7名
8月7日（木） 9:30～12:00	東みよし町内	見守り配食サービスへの同行	5名

10. 防災啓発事業

防災啓発に関する事業及び、組織内における災害対応力の向上のための事業を実施した。

○夜間の防災体験

昨年度までは屋外にて防災ウォーキングイベントを開催していたが、当日、猛暑による熱中症への危険性によりウォーキングイベントを中止し、社協屋内に切り替えて開催。本年度も危機管理課、東みよし町防災士会、三好警察署にもご協力いただいた。危機管理課は「水災害時の避難等の情報掲示」を実施。東みよし町防災士会様は毎年好評の「ロープワーク体験」を実施。三好警察署は「反射材の効果体験」「被災地支援での写真掲示」等を実施。その他にも「防災スリッパ de 避難体験」「防災スリッパをつくってみよう」「防災インスピレーションクイズ」「握力チェック」「防災まちがいさがし」「活動写真・被災地写真などの上映」等と屋内を活用しての防災啓発を充実させた。

目的：防災に興味を持つきっかけづくりと、いざという時の「体力」「観察力」「発想力」を養っていただく。

開催日：令和7年7月25日（金）18:00～19:30

会場：東みよし町社会福祉協議会 館内

参加人数：87名

○災害ボランティアセンター 西部ブロック合同研修

目的：大規模地震や頻発する豪雨災害等により、災害ボランティアセンター（以下、災害VC）に対する社会的な認知度や期待が高まっており、社会福祉協議会は発災時における迅速かつ円滑な災害VCの設置・運営が求められる。また、派遣による災害VCの運営支援では、より柔軟な対応が必要になることも予測され、未経験の職員には大きな負担になることも考えられる。この現状を踏まえ、西部ストックヤードの開錠手順の共有による初動対応の確認や、キントーンアプリの活用と併せた災害VCでの役割を体験し理解することにより、災害VCの運営や運営支援に対応できる職員の育成を目的とする。

開催日時：令和7年11月13日（木）10時00分～16時00分

会場：東みよし町社会福祉協議会

参加人数：53名

参加団体：徳島県社協、美馬市社協、つるぎ町社協、三好市社協、東みよし町社協

○東みよし防災フェスティバル2026

目的：東日本大震災を機に始まった防災イベント。自然災害が頻発する昨今、住民の中に防災・減災に対する意識が高まり、地域での自助・互助・共助での支え愛による大規模災害に対する備えがすすめられる中、地域での絆やつながりをさらに深め、日頃からの助け合いの強化のために開催している。また、災害ボランティアセンターや自主防災組織、関係機関等の平常時からの防災の取組みを知るにより、他機関連携を深める。

開催日時：令和8年3月7日（土）10時00分～13時00分

会場：東みよし町社会福祉協議会

来場者数：372名

関係者数：150名

協力団体数：29団体

11. シルバー人材センター

シルバー人材センターでは60歳以上の健康で働く意欲のある方を会員として登録いただき、屋外での除草作業や剪定作業、公園の清掃等のほか、各種屋内作業や表装作業など、高齢者の知識と経験を活かした就労を通じた『いきがづくり』や『仲間づくり』に寄与している。

(1)月別事業実績

	会員数			受注件数			契約金額			延人員	実人員	就業率
	男	女	計	公共	民間	合計	公共	民間	合計			
4月	43	33	76	20	31	51	452,935	448,217	901,152	283	43	56.6%
5月	43	33	76	20	60	80	1,180,230	1,115,901	2,296,131	428	46	60.5%
6月	43	33	76	18	53	71	858,600	984,207	1,842,807	385	46	60.5%
7月	44	33	77	25	50	75	842,652	984,188	1,826,840	377	41	53.2%
8月	44	33	77	15	44	59	345,310	727,927	1,073,237	231	36	46.8%
9月	44	33	77	18	53	71	442,135	993,085	1,435,220	322	41	53.2%
上半期計				116	291	407	4,121,862	5,253,525	9,375,387	2,026	253	55.1%
10月	44	34	78	27	53	80	1,085,464	969,439	2,054,903	354	44	56.4%
11月	43	34	78	17	53	70	414,576	1,065,235	1,479,811	317	41	52.6%
12月	43	34	78	21	30	51	588,045	788,981	1,377,026	280	38	48.7%
1月	44	34	78	15	7	22	671,425	182,050	853,475	170	30	38.5%
2月	45	34	78	18	8	26	750,845	264,490	1,015,335	191	34	43.0%
3月	45	34	78	16	22	38	474,445	398,052	872,497	205	32	40.5%
下半期計				114	173	287	3,984,800	3,668,247	7,653,047	1,517	219	46.7%
前年比				-4	-107	-111	160,163	1,289,078	1,449,241	-413	-50	-1.9%
合計				230	464	694	8,106,662	8,921,772	17,028,434	3,543	472	50.9%

(2)職群別就業状況

職群	職種	受注件数	実人員	延人員	契約金額	比率	備考
農業林業	農業の職業	88	27	229	2,243,990	13.2%	
	林業の職業	10	15	20	193,880	1.1%	
建設・採掘	土木の職業	2	10	34	316,050	1.9%	
運搬・清掃	運搬の職業	4	3	15	25,825	0.1%	
	清掃の職業	121	32	1412	3,048,748	17.9%	
	その他の運搬・清掃・包装等	469	53	1833	11,199,941	65.8%	
合計		694	140	3543	17,028,434	100%	

(3)シルバー派遣事業実績

職群	契約件数	実人員	延人員	契約金額	備考
輸送・機械運転の職業	1	1	58	516,118	ゴミ収集補助業務
運搬・清掃・包装等の職業	2	2	212	293,885	施設内清掃等
合計	3	3	270	810,003	

(4)短時間日常生活支援事業

職種	契約件数	実人員	延人員	契約金額
ゴミ出し	1	1	16	1,700
日用品等の買い物	0	0	0	0
合計	1	1	16	1,700

12. シルバー大学校・大学院【県受託事業】

高齢者自身が生きがいをもって豊かな高齢期を創造できるよう、能力の再開発を援助し、将来は地域福祉を推進するリーダーの養成を目的に実施。また、シルバー大学院では専門性の高いレベルでの学習の機会を提供している。

大学院は受講者の学びによる生きがいの促進とともに相互のつながりの構築による、より一層地域福祉の推進に貢献できる人材育成が期待される。

	シルバー大学校		シルバー大学校 大学院 ICT
	健康コース	ICT コース	
入学者数	21	14	5
辞退者数	0	1	0

13. 各種福祉団体の状況

① 東みよし町老人クラブ連合会 9クラブ会員数459名

6月の総会を皮切りに、各種研修へ大勢の会員に参加いただいた。また、10月に「自転車安全運転教室」を経て「自転車安全運転競技大会」へ出場し県内3位入賞を収め、次回は一つ上の順位へと目標を新たにした。10月末の「体育大会」では252名が参加し、6チームで最後まで気の抜けない大接戦を繰り広げた。3月末の「交通安全ウォーキング大会」は全106名の方が参加、三加茂地区は気持ちの良い晴天の下でウォーキングを楽しんだが、三好地区は雨天により安全運転教室に変更となる。しかし県内で起こった交通事故や、交通事故当事者が取るべき措置と課せられる責任、改正となる道路交通法についての説明等、交通安全を高める良い機会となった。

そうした活動が評価され、11月に開催された「全国老人クラブ大会」にて「全国老人クラブ連合会会長表彰 優良老人クラブ連合会」として表彰していただいた。

② 東みよし町遺族連合会 加茂・三庄・三好町の3つの遺族会により構成

役員総会を開催し、意見交換、親睦を図るとともに、地区遺族会ごとに上部団体主催の会議等に参加した。町追悼慰霊祭を6月19日にふれアリーナみよしで開催した。また、県戦没者追悼式が8月29日に開催され参加した。

③ 東みよし町身体障害者会 会員数101名

令和7年6月17日に総会を開催（15名参加）、また役員会を5月1日、9月30日に開催し意見交換を図る。6月29日には三好市・東みよし町合同障害者スポーツ大会が開催され参加者90名、来賓8名、運営役員11名、運営委員12名、各施設職員33名の計154名が参加した。社会参加促進事業として、三好市と合同で7月24日にボッチャ大会（6名参加）、9月25日にフライングディスク大会（8名参加）、グランドゴルフ大会（4名参加）を10月14日に開催。12月2日に研修旅行を開催し26名が参加した。

④ 東みよし町手をつなぐ育成会 会員数8世帯10名

総会を開催し意見交換、親睦を図った。例年、美濃田の淵の清掃を行っているが今年度は悪天候のため室内での総会となった。6月29日の障害者スポーツ大会には会員3名が参加。8月18日には、コミュニケーション教室に会員3名が参加され、三好市手をつなぐ育成会会員や博愛ヴィレッジ、箬蔵山荘の利用者との交流を通じて親睦を深めた。また、9月21日には四国三郎の郷でふれあいキャンプが開催され、東みよし町と三好市を合わせて40名が参加。本会からは会員5名が参加し、デイキャンプやレクレーション活動を通じた社会参加や交流の場となった。様々な事業に積極的に参加され、会員同士の交流や他の団体などとも親睦を深めるなどの活動をしている。

⑤ 東みよし町ゲートボール協会 6チーム会員数29名

高齢者の健康づくり、生きがいづくりとして活動。町 GB 協会主催による春季大会4月に実施。三好・三加茂各地区でも定期的に練習を行い、11月には秋季大会も開催。会員数は減少しているが、各クラブの熱意により新規入会者もでてきている。また、大会では合同チームを編成するなどの工夫を凝らし大会を盛り上げており、会員相互の交流とスポーツを通じた体力の向上、いきがいづくりの向上に寄与している。

⑥ 三加茂福祉委員会 会員数125名

三加茂地区を活動拠点とし、見守りサービス事業での定期訪問や見守り配食サービスにおける調理、配送などの活動を行っている。8月には見守りサービスの利用者宅を訪問し、熱中症予防の声掛けを実施し軽食をお届けした。その他三加茂地区の敬老会では今年米寿を迎えられる方にメガネスタンドを作成し贈呈。12月には見守りサービス・見守り配食サービス利用の方へもちみそを配布した。3月の防災フェスティバルでは炊き出しをボランティアグループ愛とともに実施。はるやすみこども☆さろんでは、参加した子どもたちに提供するお弁当を調理した。

⑦ ボランティアグループ愛 会員数45名

三好地区を活動拠点とし、見守りサービス事業での定期訪問や見守り配食サービスにおける調理や配送などの活動を行っている。見守りサービス利用者の方へ8月に軽食の提供とともに熱中症予防の声かけを実施。11月末には年末年始の季節食としてもちみそを配布した。その他、8月6日開催の「なつやすみこども☆さろん」では、参加した子どもたちに提供するお弁当を調理。3月の防災フェスティバルでは、災害時の炊き出しを想定し三加茂福祉委員とともに炊き出しを行った。

⑧ 東みよし町ボランティア連絡協議会 11団体255名、個人8名

町内のボランティアグループの連携・調整を図り、研修会などを開催している。本年度は、6月9日と9月22日に役員会を開催。7月15日に総会を開催し、49名の会員に出席いただいた。総会後には講師をお招きし、「褒めることの大切さ」について講演を行っている。また、10月29日には交流研修会が開催され40名の方が参加した。昨年度まではバスでの日帰り研修であったが、今年度はお食事会形式での交流研修会を行った。

⑨ 東みよし町ふれあい・いきいきサロン連絡協議会 サロン40か所、会員478名

町内のふれあい・いきいきサロンが相互の連携・協働により、サロンの継続支援のための活動を展開することを目的としている。今年度の総会では、記念講演として楽しいトークを交えたバンド演奏を披露していただき、会員も合唱で参加するなどして交流した。また、7月1日には徳島県理学療法士会協力のもと、いきいき百歳体操を行っていないサロンを対象に小規模講座を開催。少人数で和気あいあいと交流するとともに、「いきいき百歳体操」の必要性を改めて確認し、連絡協議会の本質であるサロン同士の横のつながりも深めることができた。

その他、9月・10月には「つながりワーカー養成講座」をご案内したところ多数ご参加いただき、地域の孤立や孤独となっている世帯へのつながりを考え直す研修となった。

生活支援事業

1. 生活困窮者自立支援事業【県社協受託事業】

本事業では、経済的な問題のみならず、精神的、家庭的、健康的な問題等複合的な問題を抱えながら地域生活を送られている方を対象に、自立と尊厳の確保を目指し、包括的・個別的・早期的・継続的な支援の実践を行なった。

相談支援員(兼)就労相談支援員1名（とくしま・くらしサポートセンター 東みよし担当）
担当職員1名

◇延べ相談件数

相談経路	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
電話	15	5	2	2	2	5	0	2	6	4	3	6	52
来所	4	7	4	7	2	3	5	11	8	6	6	10	73
アウトリーチ	26	61	56	65	14	35	56	35	29	29	30	28	464
合計	45	73	62	74	18	43	61	48	43	39	39	44	589

◇月次実績明細

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規相談受付件数（総数）	2	1	1	1	0	2	1	1	0	0	3	0	12
プラン作成件数（総数）	2	6	1	1	1	5	3	6	1	1	0	8	35
就労支援対象者数	0	1	0	0	0	0	1	1	1	0	0	1	5
法に基づく事業等 利用件数	住居確保給付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一時生活支援事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	家計相談支援事業	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	3
	就労準備支援事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	就労訓練事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自立相談支援事業による就労支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	生活福祉資金等による貸付	0	6	1	0	1	3	0	6	0	0	4	21
	生活保護受給者等就労自立促進事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

◇年度別相談件数の推移

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
延べ相談件数	1,175	828	1,003	1,497	589

○自立相談支援機関における、休日等の相談体制の整備について

休日・夜間等においても相談対応できるような体制を整えており、本会へかかってきた電話を転送設定し、1週間ごとの当番制により相談対応している。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
延べ相談件数	241	219	312	396	221

○フードバンク・モノバンク事業

個人や企業、関係団体などからご寄付いただいた食品や生活用品などをフードバンク・モノバンクで受取り、必要な方へお届けするフードドライブを実施している。

越年支援では食品セットを準備し、会場内には衣類や生活用品を並べて必要に応じて提供した。春休みフードパントリーでは希望者に食品セットを提供し、子育て世帯へ制服や体操服なども提供。制服などのリユースが定着してきたこともあり、子ども支援に活用できるものを多く寄付していただくこともできた。

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
寄付	119	93	97	63	51
個人	99	70	67	47	40
団体	20	23	30	16	11
配布	237	229	315	262	239
個人	212	219	300	252	219
団体	25	10	15	10	20

2. 生活福祉資金貸付事業【県社協受託事業】

低所得世帯、障害者世帯、高齢者世帯等に対し、資金貸付と相談・支援を行うことにより世帯の経済的自立や在宅福祉・社会参加の促進を図ることを目的とした制度となる。

○フォローアップ事業

緊急小口資金等の特例貸付におけるフォローアップ事業として、償還免除を受けている世帯や償還などの案内に未応答な世帯、その他要支援者などに電話連絡や訪問面談で生活状況の聞き取りを行い、今後の生活の安定や償還に向けた支援を行った。

○フォローアップに係る関係機関協働体制支援事業

緊急小口資金等の特例貸付におけるフォローアップ支援において、関係機関等との協働や個の課題を地域課題と捉える事ができる地域づくりを通じて、さまざまな経路から借受人の生活状況や生活課題を把握し、情報共有や繋ぎ合える連携体制の構築を行った。

◇相談対応件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
9	17	9	10	13	22	28	19	25	14	15	34	215

◇貸付状況（令和8年3月31日現在）

資金種類	貸付件数	滞納件数	貸付合計 (元金+貸付利子)	未償還金残高 (滞納額を含む)
総合支援資金	2	1	1,200,000	486,600
更生資金	1	1	1,344,000	3,371,939
福祉資金	6	5	5,345,617	1,812,089
教育支援資金・修学資金	29	16	27,274,000	9,944,904
緊急小口資金	3	3	301,125	381,949
コロナ特例	33	29	8,750,000	7,770,677
総合支援資金	15	11	5,550,000	4,933,750
緊急小口資金	18	18	3,200,000	2,836,927
合 計	74	55	44,214,742	23,768,158

◇本年度申請・貸付状況

資金種類	申請件数	貸付件数	貸付金額
教育支援資金	2	2	3,046,000
緊急小口資金	3	0	0
合 計	5	2	3,046,000

◇償還完了状況

資金種類	完了件数	償還金額合計	説明
緊急小口資金（コロナ特例）	5	1,001,548	
総合支援資金（コロナ特例）	3	885,000	一部免除有
合 計	8	1,886,548	

◇償還免除・時効援用等

資金種類	完了件数	償還免除金額合計	説明
福祉資金	1	2,589,286	
総合支援資金（コロナ特例）	2	712,110	内一部免除（315,000）
緊急小口資金（コロナ特例）	1	98,172	
合 計	4	3,399,568	

3. 福祉つなぎ資金貸付事業

一時的に生活に困窮している低所得世帯（町内に在住する低所得世帯で臨時の出費又は、収入の欠如等により生活を維持するのが困難な世帯で、生活福祉資金貸付制度で貸付決定された者及び会長が特に必要と認めた者）に対し、生活の安定を図るために資金を貸し付けている。

◇令和8年3月31日現在の貸付状況累積

資金種類	貸付件数	貸付金額	償還金残高	滞納件数	滞納金額
福祉つなぎ資金	5	186,000	15,000	1	15,000

◇本年度の申請状況

資金種類	申請件数	貸付件数	貸付金額	償還金残高	滞納件数	滞納金額
福祉つなぎ資金	4	4	166,000	0	0	0

4. 権利擁護事業

I. 日常生活自立支援事業【県社協受託事業】

福祉サービスの利用援助を行うと共に日常的な金銭管理を行い、地域での生活の為の支援を行っている。

◇相談援助件数（問い合わせ・相談援助件数）

内 容 対象者 事項	本事業の利用に関するもの				その他	合計
	認知症高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	不明・その他		
a. 問い合わせ件数 (制度・事業について)	1	1	2	0	0	4
b. 初回相談件数 (初回相談受付)	0	2	0	0	0	2
c. 相談援助件数 (ab 以外)	21	771	318	34	0	1,144
合 計	22	774	320	34	0	1,150

◇契約締結件数（令和7年度末の契約締結件数）

対象者 事項		認知症高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	その他	生活保護 (再掲)	合計
契 約 者 数		0	1	0	1	1	2
契 約 時 自 宅 外 (再 掲)	施 設	0	1	0	0	0	1
	病 院	0	0	0	0	0	0
	グ ル ー プ ホ ー ム	0	0	0	0	0	0

◇終了件数（令和7年度末まで）

対象者 事項	認知症高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	その他	合計
終 了 件 数	0	0	0	0	0

◇現在の実利用人数（令和7年度末時点）

対象者 事項	認知症高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	その他	合計
実 利 用 人 数	3	16	12	5	36

◇契約準備件数（令和7年度末時点）

対象者 事項	認知症高齢者等	知的障害者等	精神障害者等	その他	合計
契 約 準 備 件 数	0	0	0	0	0

5. 居住支援事業【国庫補助事業】

低所得者、高齢者、障がい者、子育て世帯などで住宅を確保することが困難な方（住宅確保要配慮者）が民間賃貸住宅等へ円滑に入居できるよう推進するとともに、入居後に必要な福祉サービスを始めとした各種サービスが利用できるよう支援を行った。

また、様々なサービスや制度につなげることで住み替えることなく安心して生活できるよう支援を行った。

○東みよし町居住支援協議会の設置

不動産、福祉・医療、法律、行政、研究者などの専門家で構成する協議会を設置し、住宅確保要配慮者への相談、入居支援及び入居後サポートを実施。

◇相談受付状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談受付件数（総数）	16	1	0	0	2	3	1	3	0	2	0	1	29
終了	2	0	0	0	1	0	0	3	0	1	0	0	7
継続	14	1	0	0	1	3	1	0	0	1	0	1	22
経過													
空き家登録	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
引越	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
不動産会社等への取次ぎ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
生活支援	12	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	15
入院・入所	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
その他	2	0	0	0	1	2	1	2	0	2	0	1	11
制度の利用等													
生活保護受給申請	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	0
生活困窮者自立支援事業	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
生活福祉資金貸付事業	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
日常生活自立支援事業	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
成年後見制度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
配食サービス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福祉電話設置事業	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
福祉サービス	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3

◇年度別相談受付状況の推移

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
相談受付件数	23	24	33	33	29
終了	11	4	14	9	7
継続	7	12	20	24	22

6. 包括的支援体制強化事業【県社協受託】

○社会福祉法人連携

町内の社会福祉法人との連携を「東みよし町暮らしサポートネットワーク」として取り組んでいる。高齢、障がい、児童など様々な分野で把握した課題とニーズを共有し、改善

策の構築を図っていく。解決ができないことで相談支援が途切れることのないよう、新たな取組みの検討を行う定例会を開催した。

また、令和7年7月29日に「ケース会議の進め方」研修会を実施。相談業務に携わる機関がケース会議で情報共有し、課題解決や支援方針を検討する際のポイントを学んだ。

【定例検討会】第1回:令和7年7月7日 第2回:令和7年10月6日 第3回:令和8年1月13日

7. 総合相談事業【町受託事業】

三加茂地区は毎月第1・3金曜日午後、三好地区は毎月第2・4木曜日午前に悩みごと・困りごと等、秘密厳守・無料で相談窓口を開設した。心配ごと相談・人権相談・行政相談・身体障害者相談の窓口を設け、親身に相談に乗ると共に、適正な関係機関への連絡・調整等も行い、悩みごとの改善に努めている。近年はご近所とのトラブルに関する相談や相続に関する相談が多く、専門機関との連携により対応を行っている。

【開設状況】	三加茂	三好	合計
開設回数	21	24	45

【相談状況】		来所	自宅等	来所	自宅等	来所	自宅等
相談 件数	心配ごと相談	2	68	2	3	4	71
	行政相談	0	5	0	1	0	6
	人権相談	0	2	0	2	0	4
	身体障害者相談	0	2	0	0	0	2
	居住支援相談	0	0	0	0	0	0
	合計件数	2	77	2	6	4	83

◇大藤・奥村地区出張相談を令和7年11月4日(火)に大藤公民館にて実施。

相談員、行政担当課の情報交換などにより地域の実情を知る機会となっている。

8. 見守りサービス事業

○つながり通信による定期訪問

毎月1回配食サービス実施日に合わせて、配食を希望しない高齢者等のご家庭にボランティアが“つながり通信”を配布して声かけを実施。2ヶ月に1度、年金の振り込み月には三好警察署-生活安全課から特殊詐欺防止の啓発チラシを提供いただき詐欺被害予防の呼びかけも実施した。

○見守り配食サービス

75歳以上の独居世帯、80歳以上の高齢者世帯や障害者世帯などの要配慮者の見守り活動の一環として、お弁当を1食300円でお届けする。調理ボランティアによる手作り弁当や町内料理店などに調理いただいた弁当を、ボランティアの皆さんに配送いただき毎月2回ずつお届けしている。

◇配食数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
配食総数	282	285	304	288	324	286	290	311	318	283	278	281	3530
三加茂地区	176	175	187	180	203	170	174	185	204	176	174	173	2177
三好地区	106	110	117	108	121	116	116	126	114	107	104	108	1353

※三加茂地区は毎月第1・第3木曜日に、三好地区は毎月第2・第4金曜日に配食サービスを実施。

両地区ともに8月第1回目の配食サービス日には見守り活動の一環として、つながり通信の配布・声かけを実施しているご家庭にも軽食（いなり寿司・お煮しめ）をお届けした。9月の敬老月間には敬老祝膳（赤飯・煮付等）のお弁当を調理しお届けした。12月にはおせちの食材を用いたおせち風のお弁当をお届けした。

◇利用登録者数（R7年度末時点）

		配食登録者	見守りサービス
三加茂	153	102	51
三好	84	67	17
合計	237	169	68

◇ボランティア(調理・配送)登録者数

	三加茂	三好	合計
ボランティア登録者数	129	45	174

～配食用小型電気自動車「みずほ号」をご寄贈いただきました～

公益財団法人みずほ教育福祉財団様より、高齢者向けに配食サービスを行っている民間団体に対し、福祉活動の支援として配食用小型電気自動車（愛称：みずほ号）をご寄贈いただき、令和7年9月24日に贈呈式を執り行いました。

ご寄贈いただいたみずほ号は、環境にやさしく、利便性に優れた小型電気自動車です。

今後は、高齢者などの定期的な見守り活動のため実施している見守り配食サービス事業の更なる推進のため活用させていただきます。



9. 高齢者移送サービス事業【町受託事業】

山間地域にお住まいで交通手段がない方や不便な世帯の65歳以上の高齢者や障害者の方が、在宅で自立した生活を送るために、乗合バスにより、片道200円で町内の「医療機関」及び「公共機関」へ毎週1回送迎を行っている。

運行にあたっては町内タクシー業者に運転業務を委託し、安全に配慮した運行を心掛けている。

◇運行状況

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
運行日数(日)	279	248	264	248	248
利用者数(人)	1,141	866	889	768	648
登録者数(人)	153	135	126	101	108

◇登録者数(長期不在者除く) ※登録者数のカッコ内は前年度末比

班	運行日	該当地区	登録者数(人)	
三加茂地区	1班	水曜日	大藤・奥村	27(+8)
	2班	火曜日	引地・白内・桑内・加茂山上・加茂山下	10(-2)
	3班	木曜日	泉野・五名上・五名下・平・新発地・森清	21(-1)
	4班	金曜日	毛田・毛田西山・木藤・黒長谷	9(+2)
	計			67(+7)
三好地区	1班	月曜日	石木・棟木・増川・柳沢	8(+2)
	2班	火曜日	葛籠・男山	13(+1)
	3班	水曜日	滝久保・岸上・岸下・内野	15(-2)
	4班	金曜日	足代中屋・笠柵・聖神・八夕・法市	5(-1)
	計			41(0)
合計			108(+7)	

10. 福祉用具貸与事業

短期貸出では、障害者や高齢者などが旅行等で一時的・短期的に車椅子、歩行器が必要となった際に無償で貸出しを行っている。長期貸出では、介護保険で非該当または要介護1以下の障害者や高齢者が、福祉用具を提供することにより、在宅で自立した生活が送れるように支援を行う。なお、消毒代金の一部を利用者さんにご負担いただき運用している。

貸出件数	短期	長期	長期累計
車いす	10件	0件	5件
歩行器	0件	0件	0件
ベッド・特殊マット		2件	18件

11. 福祉電話設置事業【町補助事業】

要援護者世帯等で通信手段がない世帯に対して、緊急連絡を可能とする為の電話の設置を行い、互助力・共助力の向上をはかり、地域からの孤立や孤独の防止に努めている。固定電話設置にかかる工事費、毎月の基本料金を本事業により負担し、毎月の通話料金は個人負担としてご利用いただいている。

◇電話回線契約状況 新規契約0件 休止回線5件 令和8年3月末現在契約件数6件

12. まごチャンネル設置事業【町受託事業】

障害者世帯や高齢者世帯に対し、画像伝送システムとAIによる環境センサーを備えた『まごチャンネル withSECOM』を設置することにより、家族とのつながりや熱中症対策などの生活安全支援体制の提供を行う。なお、本事業は徳島県 Society5.0推進事業補助金を受けて東みよし町より委託された事業。令和5年度までの実証実験として利用に伴う通信費等自己負担は発生することなく運用いただいた。令和6年度からは継続利用世帯は本体代（33,000円 [税込み]）が町からの補助金で全額補助となり、新規契約は半額補助となっている。月額利用料（1,848円 [税込み]）は利用者負担となっている。令和6年の4月から2世帯に継続利用いただいている。

東みよし町ホームページからのダウンロード方式でご利用いただいている動画コンテンツの作成は令和7年度で終了となる。

◇まごチャンネル withSECOM 設置台数 2台

◇見守り世帯状況 家族 県外 ⇒ 利用者 町内 2件

◇安否確認要請 令和8年3月31日現在 ⇒ 0件

◇今年度作成したコンテンツ 趣味・風景 ⇒ 5本 脳トレクイズ ⇒ 7本

13. 地域生活支援事業【市町・広域連合等受託事業】

障害のある方が自立した日常生活または社会生活を営むことができるよう各種事業を実施している。

○生活訓練等事業(知的コミュニケーション)

- ・事業内容 他の参加者との交流や社会体験を通じ、生活範囲の拡大と生活の質の向上を図り、社会参加の促進を図ることを目的に映画鑑賞会を開催する。
- ・実施状況 令和7年8月17日に開催。社協職員除く57名の方にご参加いただき、イオンモール綾川にて買い物、映画鑑賞を行った。

○手話通訳者派遣事業

- ・事業内容 聴覚障害者を対象とし、日常生活や各種催しなどの際に、必要に応じて手話通訳者を派遣する。
- ・実施主体 社会福祉法人徳島県社会福祉事業団
- ・実施状況 利用回数58回

○要約筆記者派遣事業

- ・事業内容 日常生活や講演等各種催しにおいて、聴覚障害者のために要約筆記者を派遣する。
- ・実施主体 社会福祉法人徳島県社会福祉事業団
- ・実施状況 利用回数0回

○声の広報発行事業

- ・事業内容 毎月1回朗読ボランティアの協力により、町発行の広報誌をCDに録音し声の広報として視覚障害者に配布している。なお、社協広報誌についても同様に発行している。
- ・実施主体 朗読ボランティア：パラピリプルペレポロ8名
- ・実施状況 回数：12回（町広報誌） 4回（議会だより）
2回（社協だより）1回（三好広域連合、声の議会だより）
- ・配布世帯数：4世帯

○スポーツ・レクリエーション教室開催等事業（三好市と交代で実施）

- ・事業内容 スポーツ・レクリエーション活動を通じて、障害者等の体力増進、交流、余暇等に資するため、及び障害者スポーツを普及するため、各種スポーツ・レクリエーション教室や障害者スポーツ大会を開催している。
- ・実施状況
 - [ボッチャ大会]
開催日：令和7年7月24日（木）
開催場所：三好市 池田総合体育館
参加人数：59名
 - [フライングディスク大会]
開催日：令和7年9月25日（木）
開催場所：三好市 池田総合体育館
参加人数：48名
 - [グランドゴルフ大会]
開催日：令和7年10月14日（火）
開催場所：三好市 吉野川公園運動場
参加人数：56名

14. 児童福祉事業

学生が福祉に関心を持ってもらうことを目的として、小・中学校へ訪問し福祉授業などを実施している。

○小・中学校での出前授業

回数	開催日時・場所	訪問先	対象	内容
1	令和7年6月3日（火） 12:50～14:30 トレーニングセンター	三加茂中学校	1年生 53名	<ul style="list-style-type: none"> ・講義「福祉について知る」 ・講義「認知症ってなあに」 ・体験（車いす、点字図書、UD食器、視覚障がい、聴覚障がい） ・全体まとめ
2	令和7年6月9日（月） 13:30～15:20 体育館	三庄小学校	4年生 30名	<ul style="list-style-type: none"> ・講義「福祉のおはなし」 ・体験（車いす、視覚障がい、高齢者疑似体験） ・まとめ
3	令和7年6月25日（水） 9:30～11:20 体育館	加茂小学校	4年生 34名	<ul style="list-style-type: none"> ・講義「福祉のおはなし」 ・体験（車いす、点字図書、UD食器、高齢者疑似体験） ・まとめ
4	令和7年7月4日（金） 13:40～14:25 4年生教室	三庄小学校	4年生 30名	<ul style="list-style-type: none"> ・講義「点字・UDについて」 ・体験（点字図書、UD食器） ・まとめ
5	令和7年9月12日（金） 13:45～15:25 5年生教室	加茂小学校	5年生 33名	<ul style="list-style-type: none"> ・講義「自分の命を守るために」 ・防災クロスロードゲーム ・まとめ
6	令和7年10月8日（水） 13:40～15:20 体育館	昼間小学校	4年生 27名	<ul style="list-style-type: none"> ・講義「福祉のおはなし」 ・体験（車いす、点字図書、UD食器、高齢者疑似体験） ・まとめ
7	令和7年12月4日（木） 13:10～14:20 5年生教室	三庄小学校	5年生 24名	<ul style="list-style-type: none"> ・講義「命を守るために」 ・防災クロスロードゲーム ・まとめ
8	令和8年1月15日（木） 13:10～14:20 6年生教室	三庄小学校	6年生 22名	<ul style="list-style-type: none"> ・講義「自分たちにできること」 ・自分たちにもできるボランティア活動を考えよう ・まとめ

在宅福祉課

介護保険事業

○通所介護

介護保険対象者の方や、総合事業の通所型サービス（現行相当・サービスA）、事業対象者の方や65歳以上の方で介護認定を受けていない介護予防対象者の方に利用いただいている。

◇デイサービスセンターおおぐす荘

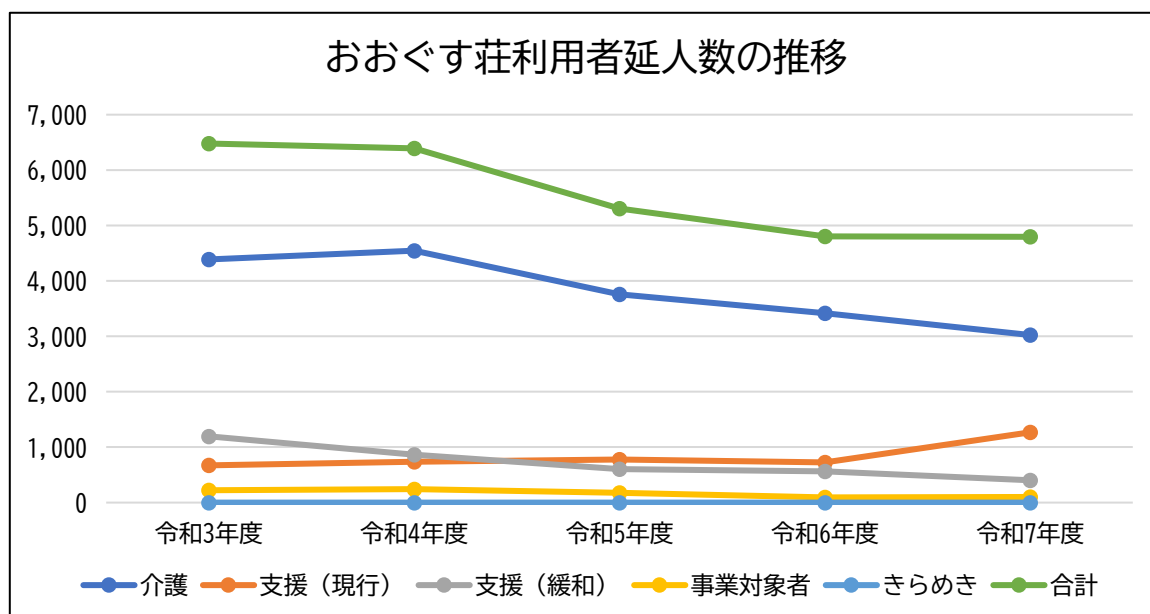
（令和7年度年間開所日合計243日、1日平均利用者数20人）

定員 一体型（介護・現行・緩和・生活介護・きらめき） 26名（年間平均利用76%）

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
介護	実人数	62	47	41	42	35
	延人数	4,388	4,546	3,756	3,420	3,024
支援（現行）	実人数	9	9	10	13	19
	延人数	672	739	775	723	1,268
支援（緩和）	実人数	29	17	13	11	8
	延人数	1,196	864	604	564	403
事業対象者	実人数	8	5	3	1	1
	延人数	223	243	174	94	101
きらめき元気アップ	実人数	0	0	0	0	0
	延人数	0	0	0	0	0
合 計	実人数	108	78	67	67	63
	延人数	6,479	6,392	5,309	4,801	4,796

令和7年度年代別利用者実人数

60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90-94歳	95-99歳	100歳-	実人数計
0名	0名	3名	7名	9名	24名	14名	6名	0名	63名



◇デイサービスセンターさざんか荘

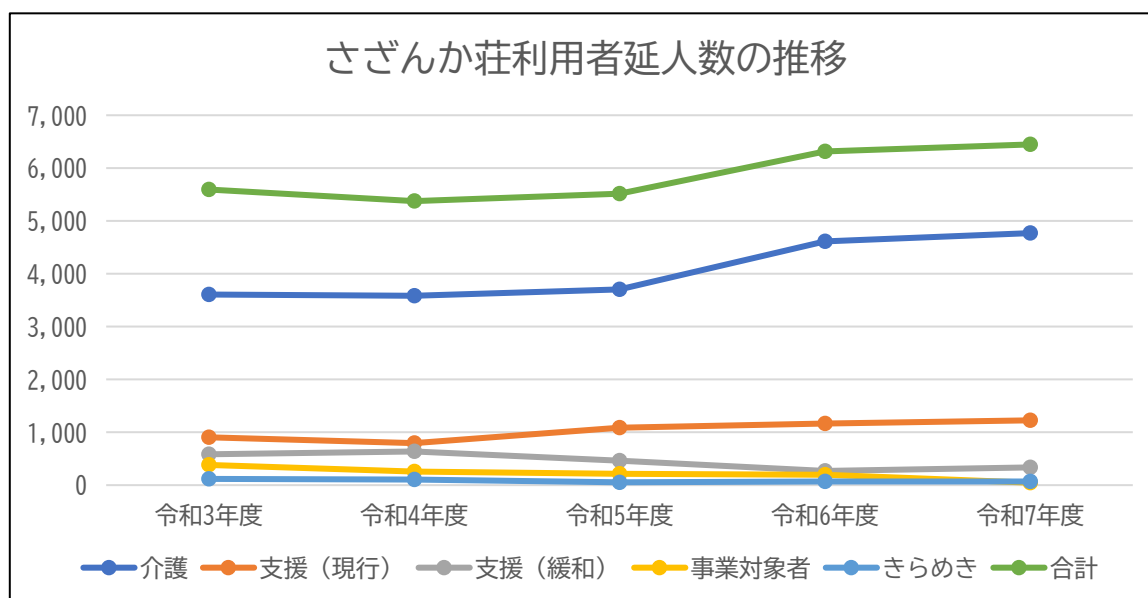
(令和7年度年間開所日合計 243日、1日平均利用者数 26人)

定員 一体型(介護・現行・緩和・生活介護・きらめき) 33名(年間平均利用 79%)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
介護	実人数	55	38	51	58	45
	延人数	3,605	3,584	3,701	4,614	4,769
支援(現行)	実人数	18	12	25	20	18
	延人数	907	795	1,087	1,168	1,226
支援(緩和)	実人数	13	10	11	6	6
	延人数	584	637	461	269	333
事業対象者	実人数	6	3	3	3	1
	延人数	382	254	215	194	47
きらめき元気アップ	実人数	6	5	3	3	3
	延人数	118	105	54	68	72
合 計	実人数	98	68	93	90	73
	延人数	5,596	5,375	5,518	6,313	6,447

年齢別利用者実人数

60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90-94歳	95-99歳	100歳-	実人数計
0名	1名	1名	7名	13名	22名	25名	4名	0名	73名



○訪問介護

要介護認定者、総合事業の訪問型サービス（現行相当・サービスA）、事業対象者の方々に身体介護、生活援助の提供を行っている。

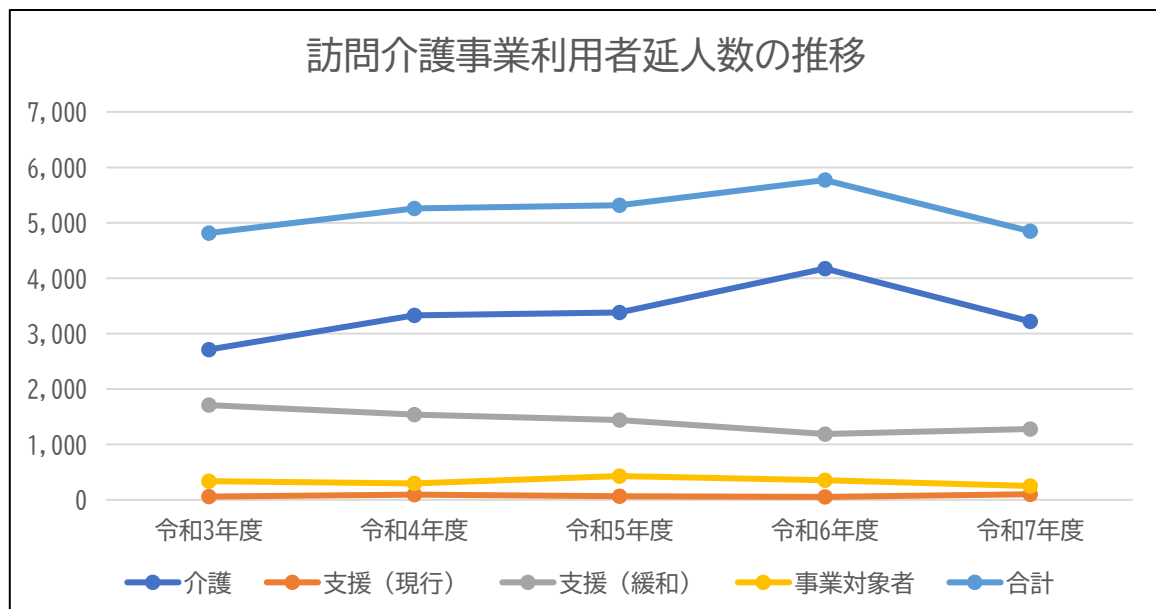
◇東みよし町ホームヘルプセンター

（令和7年度年間開所日合計244日、（1日平均訪問数22人、居宅介護含む））

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
介護	実人数	42	31	30	48	46
	延人数	2,712	3,330	3,381	4,173	3,219
支援（現行）	実人数	4	2	2	2	2
	延人数	57	96	66	53	101
支援（緩和）	実人数	35	28	23	28	30
	延人数	1,709	1,537	1,442	1,188	1,280
事業対象者	実人数	7	5	6	5	4
	延人数	336	296	429	356	250
合 計	実人数	88	66	61	83	82
	延人数	4,814	5,259	5,318	5,770	4,850

年齢別利用者実人数

60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90-94歳	95-99歳	100歳-	実人数計
0名	4名	7名	15名	10名	42名	16名	7名	1名	82名



○居宅介護

介護保険に関する相談、介護保険の申請代行、認定調査、介護支援サービス計画の作成、居宅において日常生活を営むための調整を行った。また、管内の施設入所支援や転出し県外への施設入所支援等、本人や家族の意向を尊重したうえで、他機関との連携を図りながら、支援を行った。

◇東みよし町居宅介護支援事業所 (令和7年度介護支援専門員3名)

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
介護	担当人数	未集計	未集計	未集計	未集計	1,209
	(月平均)	未集計	未集計	未集計	未集計	101
	新規	未集計	未集計	未集計	未集計	32
	(月平均)	未集計	未集計	未集計	未集計	3
	請求人数	1,137	1,142	1,062	1,176	1,113
	(月平均)	95	95	86	98	93

介護度別利用者人数 (月平均)

	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
人数	25名	49名	16名	4名	0名	94名

年齢別利用者担当人数 (3月末現在)

60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90-94歳	95-99歳	100歳-	実人数計
0名	1名	8名	15名	8名	28名	25名	14名	0名	98名

○障害福祉サービス

生活介護…社会参加、自立の促進、生活改善、身体機能の維持向上を日中時間帯に提供している。デイサービスセンターさざんか荘で実施。

居宅介護…障害者総合支援法で居宅介護の利用が認められた障害者世帯等に訪問して日常生活上の援助を行っている。東みよし町ホームヘルプセンターで実施。

		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
生活介護 デイサービスセンターさざんか荘	実人数	2	2	2	0	0
	延人数	212	200	104	0	0
居宅介護 ホームヘルプセンター	実人数	11	8	10	10	11
	延人数	582	497	593	593	688
合計	実人数	13	10	12	10	11
	延人数	794	697	697	593	688

年齢別利用者実人数

20-24歳	25-29歳	30-34歳	35-39歳	40-44歳	45-49歳	50-54歳	55-59歳	60-64歳	65-69歳	実人数計
0名	0名	1名	1名	0名	2名	4名	2名	0名	1名	11名

東みよし町地域包括支援センター

事業の総括と重点目標

東みよし町地域包括支援センターでは今年度、「地域に根ざしたまちづくり」と「地域包括ケアの推進」を重点目標に掲げ、介護予防から権利擁護まで、多角的な支援を展開してきた。特に今年度は、住民の皆様の健康に対する主体的な変化と、多世代にわたる地域ネットワークの広がりを強く実感した一年となった。

令和7年度の人員配置について（8名配置）

- ・センター長（事務兼務）1名 ・看護師 2名 ・社会福祉士 1名
- ・主任介護支援専門員 1名 ・介護支援専門員 3名

◎包括的支援事業

I. 介護予防ケアマネジメント業務

介護予防教室等の周知や、教室での介護予防の情報提供及び地域の実態把握を行うことで、介護予防普及啓発と健康増進活動の支援を行った。特に体組成計を用いた見える化により、住民の健康意識が向上し、教室終了後も自主的な活動へ移行するケースが見られるなど、フレイル予防の定着に繋がった。

(1) サービスC対象者の訪問・相談〔訪問・相談数〕

区分	訪問	来所	電話	合計
のびのび教室	32	0	0	32
訪問型（専門相談）	2	0	0	2
計	34	0	0	34

(2) サービスC対象者に係る介護予防ケアプラン作成数

区分	保健師等	社会福祉士	主任介護支援専門員	合計
のびのび教室	8	4	4	16
訪問型（専門相談）	1	0	0	1
計	9	4	4	17

評価数

区分	合計
終了	17

(3) 介護予防事業実施

区分	実施回数	参加者数
講演会（介護予防教室）等での介護予防についての教育	44	326
サロン	40	212
認知症サポーター養成講座	3	37
介護予防講演会（映画上映）	1	100
のびのび教室	10	234
計	35	560

II. 総合相談支援業務、権利擁護業務

地域の高齢者が、住み慣れた場所で安心してその人らしい生活を続けられるよう支援することを目的に多様な取り組みを実施した。

早期発見と見守りの強化では、「さんカフェ」を10回開催するなど、インフォーマルな場を継続的に設けることで、潜在的な生活課題の早期発見に努めた。アウトリーチによる実態把握では、訪問による実態把握を210件実施し、これにより、既存のサービスでは届きにくいニーズを掘り起こし、適切な関係機関へのつなぎを実施した。権利擁護の基盤づくりでは、虐待防止や成年後見制度への対応だけでなく、日常的な相談やサロン活動を通じた見守り体制を構築することで、高齢者の尊厳を守るためのセーフティネットとしての機能を果たした。

(1) 相談件数

区 分	件数	夜間等対応		
		平日昼間	17:30~8:30	休日昼間
①介護保険その他の保健福祉サービスに関すること	255	252	1	2
②権利擁護（成年後見制度等）に関すること	1	1	0	0
③高齢者虐待に関すること	2	1	0	1
④その他	167	136	30	1
計	425	390	31	4

(2) 相談内訳 ※①②③④は1の相談内容区分による(関係機関は行政・医療・保健・福祉関係)

担当者別 相談内容	相談方法			相談者				合計	
	訪問	来所	電話等	本人	家族	地域	関係機関		
保健師 等	①	13	27	71	21	57	5	28	111
	②	0	0	1	0	0	0	1	1
	③	0	0	0	0	0	0	0	0
	④	6	7	73	19	28	9	30	86
社会 福祉士	①	1	7	20	5	12	2	9	28
	②	0	0	0	0	0	0	0	0
	③	0	0	1	0	1	0	0	1
	④	0	4	36	5	5	2	28	40
主任 介護 支援 専門員	①	14	25	77	19	52	3	42	116
	②	0	0	0	0	0	0	0	0
	③	0	0	1	0	0	0	1	1
	④	2	3	36	5	9	5	22	41
計	36	73	316	74	164	26	161	425	

- ・地域ケア会議等の開催 開催回数3回 参加者数35名
- ・さんカフェの開催 開催回数10回 参加者数153名
- ・認知症講演会（映画上映会） 開催回数1回 参加者数77名
- ・住民ボランティアやサロンとの協力体制の構築

(3) 実態把握調査

訪問等を通じて高齢者の実態を把握し、サービス利用の支援や情報提供、ネットワークを活用した見守り活動等へつなげるための支援を実施した。

事業別調査状況

事業名	件数	方法
実態把握	210	訪問による実態把握
緊急通報装置貸与事業	0	東みよし町実施の高齢者在宅福祉事業
運転免許返納者への対応	2	生活支援連絡制度
計	212	

Ⅲ. 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、個々の状況に応じた適切なケアマネジメントを継続的に実施した。また、ケアマネジャーの資質向上を目的に、日常的な個別指導や支援困難事例への助言・指導も行った。医療・介護・福祉との連携体制を強化し、切れ目のない支援の提供を目的に取り組みを行った。

(1) 包括的・継続的ケアマネジメントの体制構築

【関係機関との連携づくり】

	月 日	内 容	参加者数
1	4月 8日	令和7年度事業打ち合わせ	8
2	7月 4日	自殺対策連続セミナーフォローアップ研修会	20
3	9月 5日	医療と介護・多職種連携研修会	34
4	9月17日	東みよし町地域支え合い推進協議会	16
5	9月19日	精神障害者支援者研修会	15
6	10月8日	在宅医療に関する講演会	40
7	10月9日	精神障がい者支援研修	15
8	10月26日	美馬・三好地区地域包括ケアの推進に係る研修会	
9	10月27日	T氏ケース会議	11
10	10月30日	認知症声かけ模擬訓練	37
11	11月8日	認知症初期集中支援チーム員研修	80
12	11月17日	在宅医療・介護連携推進事業研修会	42
13	12月2日	退院支援多職種連携会議	7
14	12月10日	東みよし町防災フェスティバル打ち合わせ	32
15	1月6日	令和7年第1回地域とのカンファレンス	25
16	1月8日	令和7年第3回地域臨床倫理カンファレンス	25
17	1月13日	くらしサポートネットワーク定例検討会	17
18	1月15日	ケアマネ研修会	15
19	1月21日	地域ケア会議	12
20	2月4日	みよしケアマネジャーネットワーク研修・交流会	42

	月 日	内 容	参加者数
21	2月9日	あどサポ定例支援検討会	16
22	2月12日	地域ケア会議	12
23	2月24日	GH 健祥会いこい運営推進会議	7
24	3月7日	防災フェスティバル	372
25	3月13日	地域包括支援ケア関係者連絡会議	50

【医療機関との連携づくり】

	月 日	内 容	参加者数
1	7月10日	徳島県認知症疾患医療センター（桜木病院）	35
2	8月22日	在宅医療・介護連携推進研修会	27
3	11月28日	自立支援ケア会議	18

【地域のインフォーマルサービスとの連携づくり】

	月 日	内 容	参加者数
1	5月10日	足代長寿会総会	35
2	6月29日	さざんかくらぶ総会（足代下の段）	30
3	7月30日	オレンジスマイル座談会	18
4	9月17日	東みよし町地域支え合い推進協議会	16
5	10月9日	精神障がい者支援研修	15
6	10月15日	オレンジスマイル広報活動	13
7	10月26日	美馬・三好地区地域包括ケアの推進に係る研修会	
8	10月27日	T氏ケース会議	11
9	12月10日	東みよし町防災フェスティバル打ち合わせ	32
10	1月21日	地域ケア会議	12
11	1月22日	民生委員児童委員協議会定例会	40
12	2月13日	第4期地域福祉活動計画策定委員会	65
13	3月7日	防災フェスティバル	372
14	3月24日	令和7年第6回GH ころ運営推進会議	9
15	3月25日	リリーハウス運営推進会議	7
16	3月26日	第3回オレンジスマイル座談会	19

○グループホーム及び小規模多機能運営推進会議への参加回数 17回 137名

【開催場所：GH リリーハウス、GH ころ、GH 健祥会いこい】

○サロン訪問 町内 38ヶ所 446名参加

(2) 介護支援専門員に対する個別支援

	区 分	実施回数	担 当		
			保健師等	社会福祉士	主任介護 支援専門員
1	支援困難事例を抱える介護支援専門員への対応	3	0	0	3
2	個別事例に対するサービス担当者会議開催支援	3	1	0	2
3	質の向上のための研修	3	0	0	3
4	介護支援専門員のケアマネジメントの指導	0	0	0	0
5	介護支援専門員同士のネットワーク構築	2	0	0	2
6	介護支援専門員に対する情報支援	11	0	0	11
7	居宅サービス事業所等への研修等の働きかけ	2	0	0	2
8	その他（委託事業所説明会等）	18	10	1	7

- ・ 担当者会議開催支援 ・ 資質向上のための研修会の開催、参加
- ・ 委託についての相談 ・ 介護支援専門員に対する個別支援

こうした個別支援に加え、多職種連携のプラットフォームとして各種研修会や講演会を開催し、地域全体の専門性向上と顔の見える関係づくりを推進した。

また、住民の集いの場であるサロン活動等を通じて、予防的観点からの早期介入や地域課題の把握に努めてきた。これらの取り組みにより、単なるサービス調整に留まらない、地域全体で高齢者を支え抜く重層的な支援体制の構築をより確かなものとした。

◎指定介護予防支援

介護認定において要支援認定者および事業対象者に対し、介護予防を目的としたケアマネジメントを実施し、自立支援および生活機能の維持・向上を図った。

(1) 介護予防支援給付管理状況 (件) 実施期間：令和7年4月1日～令和8年3月31日

作成数	年度分		月遅れ		計	月平均
	新規・初回	継続	新規・初回	継続		
要支援1	12	298	4	0	314	26
(内委託分)	0	12	0	0	12	1
要支援2	23	1,138	5	5	1,171	98
(内委託分)	2	53	1	0	56	5
計	35	1,436	9	5	1,485	124
(内委託分)	2	65	1	0	68	6

(2) 介護予防・日常生活支援総合事業給付管理状況 (件)

作成数	年度分		月遅れ		計	月平均
	新規・初回	継続	新規・初回	継続		
事業対象者	3	119	0	0	122	10
(内委託分)	0	0	0	0	0	0
要支援1	11	139	0	0	150	13
(内委託分)	0	0	0	0	0	0
要支援2	15	587	2	0	604	50
(内委託分)	0	32	0	0	32	3
計	29	845	2	0	876	73
(内委託分)	0	32	0	0	32	3

※サービス担当者会を実施した作成プラン数

	介護予防	総合事業	計
件数 (件)	132	79	211

(3) 介護予防支援業務委託管理

委託事業所別件数 (令和8年3月末現在)

事業所名	件数
健生西部診療所	1
健祥会ケアプランセンターみよし	2
合同会社あさひ	4
合同会社はちどり	4
みのだ苑	1
計	12